

大阪公立大学都市科学・防災研究センター協力講座 40.「自然現象と防災・減災を学ぶ科」(2024年度)

【火曜日授業予定表】講師:宮野道雄、三田村宗樹、大島昭彦、重松孝昌ほか

				午 前			午 後			
回	月	日	曜日	講義数	テーマ	内 容	講 師 名	テーマ	内 容	
1 学 期	1	8	月	①	①入学式&オリエンテーション(合同、大阪国際会議場)					
	2	4	16	火	1	災害全般	日本の自然環境、水圏、大気圏	三田村 宗樹(大阪公立大学理学研究科教授)	クラスオリエンテーション 年間学習・行事予定等の説明、自己紹介、班写真撮影	
	3	23	火	2	地震災害1	地震の起こり方	三田村 宗樹	高大オリエンテーション、班役割説明・班各担当・班長決定、遠足委員会議		
	4	14	火	3	地震災害2地盤と地震	地震による地盤災害(液状化、土砂災害など)について過去の事例を含めて説明	大島 昭彦(大阪公立大学特任教授)	自主活動	各担当別会議(代表者決定他)、遠足行先検討(決定)、社会参加活動発表者選出(各班1~2名)	
	5	5	21	火	4	★校外学習(地盤沈下対策防災まちあるき)	落合上原船場大正千島から津守へ渡船し南海木津川~汐見橋駅で下車、安政南海地震碑へ	三田村宗樹AM10-12	〃	〃
	6	28	火	5	地震災害3	地震動と建物被害	宮野 道雄(大阪公立大学特任教授)	〃	遠足報告	
	7/8	4	火	6/●	地震災害4	津波	宮野 道雄	②社会への参加活動(準備活動)(活動事例研究)遠足案内配布		
	9	11	火	7	地震災害5	地震による人的被害と避難行動	宮野 道雄AM10~12	A班:始めよう! 災害への備え B班:校外消防局防災体験	A班:スマホを活用した災害への備えについて学ぶ B班:東大阪市消防局防災センター(防災体験80分)	
	10	18	火			★③遠 足				
	11	25	火	8	地震災害6	地震災害からの復旧・復興	宮野 道雄AM10~12	A班:校外消防局防災体験 B班:始めよう! 災害への備え	A班:東大阪市消防局防災センター(防災体験80分) B班:スマホを活用した災害への備えについて学ぶ	
	12	2	火	9	大地震の事前対策と被災者復興支援の仕組み	地震被害軽減と復興支援の仕組み、都市や建物の復興/被災者支援の課題	大西 一嘉(神戸大学院工学研究科・研究員)	自主活動	自主企画講座説明、内容検討	
	13	7	9	火	10	火山災害1	火山活動とプレートテクトニクス	三田村 宗樹	水害から身を守る、マイタイムランづくり	淀川河川事務所(調整中)
	14	16	火	11	火山災害2	日本の大規模火山の活動	三田村 宗樹	自主活動		
		8				夏 休 み				
2 学 期	15	9	17	火	12	土砂災害	特に豪雨による土砂災害について。そのメカニズム及び過去の事例を含め説明	大島 昭彦	自主活動	健康まつり説明 参加内容検討
	16	24	火	13	気象災害1	風水害発生メカニズムの解説とその対策対応	重松 孝昌(大阪公立大学工学研究科教授)	〃	社会参加活動内容検討	
	17	8	火	14	災害と食	災害時栄養バランス良い食事を継続の為にローリングストック法やポリ袋調理を学ぶ	伊藤 智(神戸学院大学講師)	災害時のための食料備蓄について	近畿農政局(調整中)	
	18	16	水	④	④コーダイ健康まつり(服部緑地陸上競技場)					
	19	22	火	15	ゲームを通じた防災・減災学習(1)	ゲームの作成・実施を通して防災・減災の対策・対応を学習する	重松 孝昌	自主活動	コーダイフェスタ内容説明 参加内容検討	
	20	29	火	16	ゲームを通じた防災・減災学習(2)	ゲームの作成・実施を通して防災・減災の対策・対応を学習する	重松 孝昌	校外活動地下40m若江立坑施設へ	安全で快適なまちづくりめざして(地下河川のたて穴!寝屋川南部地下河川若江立坑見学)	
	21	12	火	17	日常生活事故・犯罪	日常生活事故・犯罪	宮野 道雄	自主活動	コーダイフェスタ準備	
	22	11	13	水	⑤	⑤コーダイフェスタ(豊中市立文化芸術センター)				
	23	19	火	18	★校外学習(防災まちあるき)	防災まち歩きで地域の災害リスクを確認しよう!(南海本線「粉浜駅」集合)	三田村宗樹AM10-12	〃	〃	
	24	3	火	19		自主企画講座			自主活動	
25	12	10	火	20	日常防火と市街地(地震時)延焼火災	出火、延焼、避難の各段階に応じた防火対策。(地震時)大規模延焼火災について、事例を基に学ぶ	大西 一嘉	〃	〃	
26	17	火	21	災害と健康	災害後の避難生活等において、健康を維持するために気をつけるべき視点を紹介	畠山典子(大阪公立大学院看護学研究科講師)	〃	修学旅行検討開始		
					冬 休 み					
3 学 期	27	14	火	22	災害時避難所の開設と運営	避難所の開設運営をスムーズにするための組織作り手順、平時における取組み	増田裕子(公立大都市科学防災研究センターコーディネーター)	自主活動	修学旅行決定	
	28	1	21	火	⑥	⑥社会への参加活動・・・(仮日程;1学期~3学期の間に活動日を1回設定)				
	29	28	火	23	タイムライン防災と地区防災計画	地震における時系列で考える防災計画をもとに地区防災計画案づくり	増田 裕子	〃	学習成果発表会準備	
	30	4	火	24	災害ボランティア	災害が起れば何が出来るか災害現場を経験して、大阪で被災した時何が出来るか	軸丸 政代(大阪公立大学非常勤講師)	〃	学習成果発表会準備	
	31	18	火	25	災害関連死	震災関連死を防ぐための支援・施策の現状と課題を住環境から考える	志垣智子(大阪経済大学 講師)	〃	学習成果発表会準備	
	32	25	火	26		学習成果発表会			修学旅行案内配布	
	33				⑦	⑦修了式				
	34	4	火	⑧	⑧・⑨卒業旅行(1泊2日)					
	35	5	水	⑨						
	授 業(自主企画成果発表会含)					26(講座数列1~26)				
学 習 事 業 ( ① ~ ⑨ )					9(講座数列①~⑨)					
合 計					35					
					★校外学習					

注) 1. 日程、カリキュラム内容等は、都合により変更になる場合があります。※講師肩書き(2023年10月現在)

20230808作成  
20240331改